

第 43 回卒業式が行われました

令和3年3月1日（月）、第43回卒業証書授与式が挙行されました。

新型コロナウイルス感染予防のため残念ながら在校生の参加は叶いませんでしたが、保護者の皆様方に見守られながら、普通科233名、災害科学科24名、計257名が本校を巣立っていきました。

■送辞 2年7組 櫻井 乃綾（多賀城中出身）

希望溢れるこの良き日に卒業式を迎えられた卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この場に臨席できなかった在校生を代表して、心よりお祝い申し上げます。

先輩方の姿は常に私たちの目標であり、心の支えでもありました。先輩方との思い出は、私たち在校生にとっての宝物です。その先輩方が最高学年としてまさに実りの時期を迎えようとしたとき、学校が一時休校となり、先輩方とさらに思い出を作りたいと思っていた私たちも、充実した高校生活を送れない日々が続きました。それでも先輩方はそうした困難に屈せず、いつ何時も熱心に学業に励む姿を見せてくださり、自ら描いた夢の実現のために努力を惜しまずに取り組むことの尊さを私たち後輩に示してくださっていました。

どうぞこれからの多賀城高校のことは、私たち在校生にお任せください。先輩方から学んだ多賀城高校の伝統を後輩たちに受け継いでいき、より良い学校にしていけるよう頑張りますので、先輩方はどうか前を向いて強く歩み出してください。（抜粋）

■答辞 3年5組 箭子 優羽（高砂中出身）

卒業するにあたって断言できることは、私たちの高校生活はたくさんのおかげで充実したものになった、ということです。多賀城高校で過ごした日々を思い出として語りつくすにはとても時間がかかるでしょう。それほどたくさんの出来事と成長があった三年間でした。

自粛生活や部活動の大会の中止など、やり場のない気持ちを抱えたまま受験勉強を始めることとなりました。しかし、そんな状態でも、先生方や家族の力を借りて、自分たちなりに工夫して過ごすことができました。多高三大行事は、例年よりは小規模ではあるものの、みんなと協力して成功させることができました。

後輩、友人、先生、家族、私たちを支えてくれたすべての皆さんに感謝します。本当にありがとうございました。そして、私たちのこれからの未来に思いを馳せて、答辞といたします。（抜粋）

